

<センター所長のコラム>

京都大学保健管理センター所長 川村 孝

2006年6月、本学の学生が体育館で部活中に心停止を起こし、帰らぬ人となりました。当時すでにAED(自動体外式除細動器)が体育館に配置されていたのですが、最初は心停止とはわからなかったようで現場に届くまでに時間がかかり、救急隊到着前に使われることはありませんでした。その反省を踏まえ、保健管理センターと環境安全衛生部はAEDの増設や心肺蘇生術の啓発・講習に乗り出しました。さあ、どれほど認知されるようになったでしょうか。

<健康トピックス!>

京都大学保健管理センター 本部地区看護師

AED アンケート調査結果について

職員定期健康診断において実施致しました AED についてのアンケート調査にご協力を賜り有難うございました。お陰様で多数の教職員の皆様からご回答を頂きました。

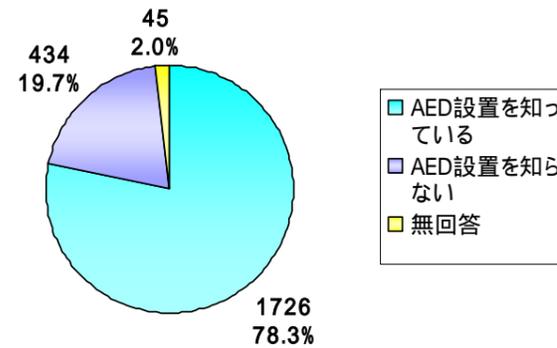
アンケートの結果については、以下のようになりましたので、ご報告致します。

1) アンケート回答者数と特性

教職員の方 2,605 名に対してアンケート調査を実施し、2,207 名の方より回答を頂きました(回答率 84.7%)。うち男性回答者は、1,216 名(55.1%)、回答者の平均年齢は、38.6 歳、AED 受講歴の有る方は、419 名(19.0%)でした。

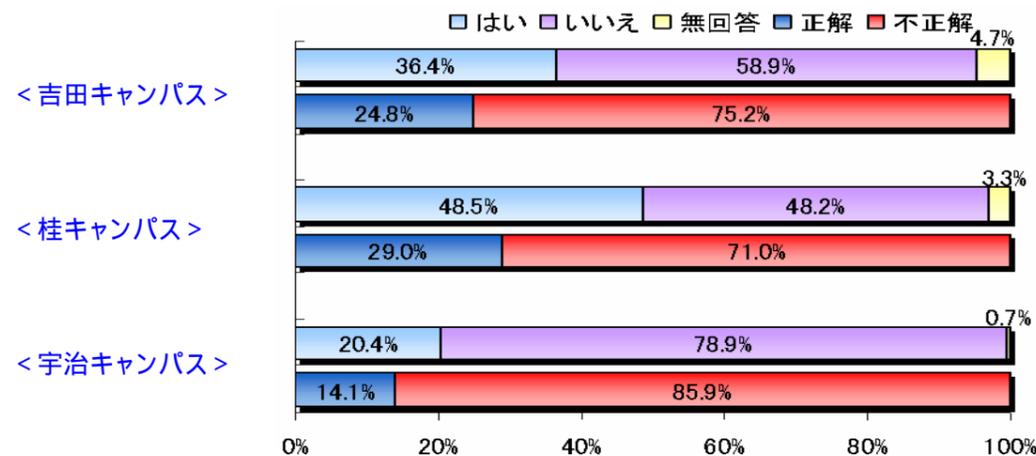
2) AED 設置に対する認知度

“学内に AED が設置されていることを知っていますか”という問いに対して、“知っている”と回答した方は、1,726 名(78.3%)、“知らない”と回答した方は、434 名(19.7%)で、AED 設置に対する認知度は、高いことがわかりました。(右グラフ参照)



3) AED 設置場所について

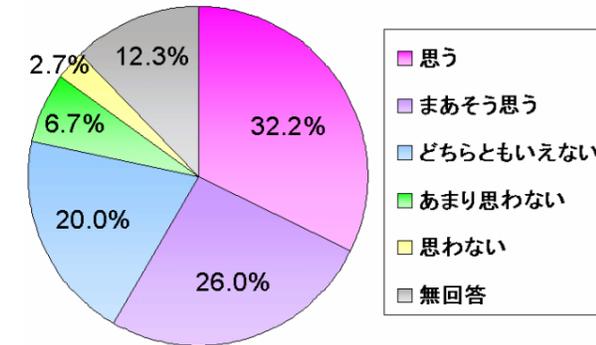
問1(グラフ上段):勤務されている場所の最寄りの AED 設置場所を知っていますか
問2(グラフ下段):地図上に AED 設置場所を記入して下さい(問1で“いいえ”と回答した方は不正解とした)



左ページの結果より、AED の設置については認知度が高いものの、具体的な設置場所の認知は、まだまだ低いことがわかります。さらに、各キャンパスで結果に差があり、AED の設置が進んでいるエリアほど、AED の設置場所に対する認知が高いことがわかりました。

4) AED の使用に対する意識調査

“目の前で人が倒れたら AED があれば、使用してみようと思いますか”という問いに対する回答は、以下のようになりました。



この結果によると、積極的に“AED を使用する”と回答した方は、3割程度に留まっています。“使用しない”と回答した方の意見として、“使い方がわからない”“一回しか講習を受けていないので上手く使える自信がない”等知識や経験不足からくる不安が“使用しない”と回答した背景にあることがわかりました。

また、“AED の使い方を知りたい”“再講習を受けて確認したい”という積極的な要望もあり、AED のしくみを理解して使用するためには定期的な講習が必要だと思われました。



学内における AED の設置場所や AED の使用方法は

京都大学ホームページで確認できます。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/safety/aed/map>

アンケート実施後、かなりの台数の AED が増設されました。新しく増設された AED の設置場所については、ホームページ上の情報が追いついていないことがあります。実際にご自身の身近な AED を確認下さい。